

●第5回建設ワークショップ

テーマ「複合交流センターと周辺の景観を考えよう！」

平成21年11月25日（水）第5回建設ワークショップが「昼の部」17名、「夜の部」53名の皆さんにご参加をいただき、開催されました。

今回は夜の部に限り、通常のワークショップの前にミニコンサートが開かれました。さっそくその様子からお伝えします。



会場は一般室にある閲覧コーナーです。

（夕方まで勉強してた皆さん、会場設営のためにご迷惑をおかけしました）

このスペシャルコンサートはある“つながり”をきっかけに開催することになりました。

市立小諸図書館ができて50年あまり。初めて歌声が響きました。



「せっかく本に囲まれた中でコンサートをひらくので」

とゴスเปอร์ん♪こもろの方がゴスペルの歴史をひもときながら関連の絵本を読み聞かせてくれました。



なんとも楽しいひと時でした。

図書館と音、一見共存できそうにないものが見事に融合したステージでした。

人とのつながりがきっかけで開催となったコンサートですが、今回だけにとどまらず今後もさまざまな人の活躍の場を広げていきたいと思います。

さて本題に戻ります。

J R 東日本建築設計事務所の方からはコンセプトのおさらいとして前回までのゾーニング (案) について再度お話がありました。



●平面のゾーニングのおさらい

1階と2階は図書館

3階には会議室、小さなホール、休憩スペース、観光案内所

屋上階は展望スペースと太陽光利用スペース、機械室

などの機能を持った各スペースが配置されています。

●断面ゾーニングのおさらい

外←→中が見える感じ

1階←→2階を見た時の広々感

3階や屋上から見た時の視界感

●内観のイメージパース

断面ゾーニングを立体的にとらえやすいように、建物の内観を

立体的に描いた透視図を、館内のいくつかの視点からとらえたものを見ました。

●立面のデザインコンセプト

- 1.透明性
- 2.北国街道の格子のイメージ
- 3.照明エネルギーの低減
- 4.風景への溶け込み
- 5.存在感の低減
- 6.メンテナンス性、機能をもったデザイン

言葉だけでは分かりにくいので、
イメージしやすいように実際ある各地の建物の写真を見せてもらいました。



前回まで白かった模型です。色をつけるとこんな感じになります。

これを受けて、参加者の皆さんから外観について多くの意見が出されました。

前段の説明で壁面がガラス張りということが印象にのこり、
「ガラス張りにした場合、維持費は大丈夫か？」や「日々のメンテナンスが
普通の壁より大変そう」といった費用や職員の手間に関する意見が多かったです。

一方で、「格子のイメージは北国街道を現代風にしたのはとてもよい」
「斬新なデザインでいい。高齢者にも優しそうで長年使えそう」など
今の街に溶け込む印象を受けた参加者の意見も出されました。

次回はいよいよ第6回の「基本設計案を見てみよう！」です。
これまでの集大成ということで皆さんの期待が大きいのではないでしょうか。
第6回をもって皆さんとのつながりは終わりではありません。
今後も、**皆さんとつくり上げた複合交流センター**を皆さんと一緒に
いいものにしていきたいと思います。